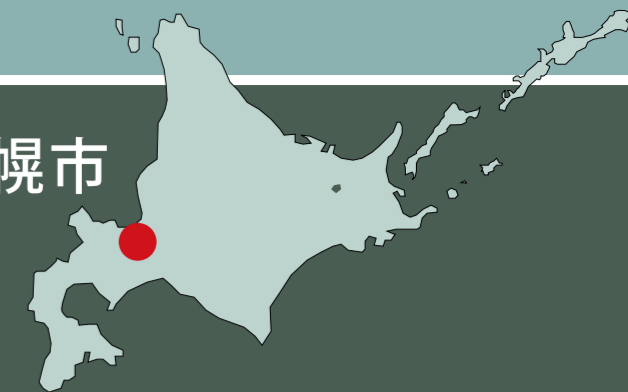


中島公園 (札幌市)

札幌市



貯木池から始まった北海道造園発祥の地

札幌市中心部から約1km南に位置する中島公園は、1909（明治4）年、山鼻村に開拓使により整備された貯木池が始まりであり、その後、札幌区へ編入され、当時開園された岡田花園（現存せず）は北海道における造園発祥の地という歴史を持つ。1908（明治41）年の長岡安平の設計に基づき1910（明治43）年、中島公園として開園、改修を繰り返す。今日では当初、長岡の設計した姿を見ることはできないが、開拓の歴史とともに歩み、周辺環境の変化の中で、札幌中心部の縁辺部における緑のストック、またその時代のニーズに合わせて様々な機能を持ち、札幌市民に愛され続けている存在は重要な意味を持つ。



当初から藻岩山を借景に取り入れていたと考えられる

概要

名称	中島公園
所在地	札幌市中央区中島公園
管理者	札幌市
規模	約24ha
種別等	都市公園（総合公園）
整備年	1910（明治43）年中島遊園地を中島公園に改称
告示年	1957（昭和32）年都市公園告示
国の重要文化財「豊平館」「八窓庵」が園内に移設されている	



池越しに豊平館を臨む